

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		帝塚山学院大学		設置者名	学校法人 帝塚山学院			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成23年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業生数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
リベラル アーツ学 部	リベラルアーツ学 科	200人	中一種免(国語)	平成21年度	—	—	—	—
			高一種免(国語)					
			中一種免(英語)					
			高一種免(英語)					
人間科学 部	情報メディア学科	90人	高一種免(情報)	平成21年度	—	—	—	—
	心理学科	150人	中一種免(保健)	平成21年度	—	—	—	—
			高一種免(保健)					
食物栄養学科	80人	養教一種免 栄教一種免	平成18年度	91人	8人	8人	0人	
入学定員合計		520人	合計		91人	8人	8人	0人
備考	<p>・「学部・学科等の名称等」欄は、平成24年4月1日現在の名称・定員である。                  ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。</p>							

## 教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成24年7月19日（木）

実地視察大学：帝塚山学院大学

実地視察委員：渡辺三枝子委員、佐々祐之委員

## 【全般的事項】

○「2.」、「7.」で指摘するように、教育課程及び教員組織において教育職員免許法施行規則及び課程認定基準を満たしていない点があるので、早急に改善を行うこと。

## 【個別事項】

## 1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

○教員養成に対する理念はあるが、それを明確化・具体化するための教職課程に関する全学的組織が十分に機能していない結果、教育課程の編成方針はもとより、専任教員基準及び教育課程の内容をチェックすることが出来ていない。

今後、教職課程（教科に関する科目及び教職に関する科目）に係る教育課程の編成や教員配置等の意思決定を実質的に行うことを可能とする全学的な組織の構築を図ること。

## 2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目）、履修方法及びシラバスの状況

○同じ名称の教職課程の授業科目でありながら、担当教員によって、内容が全く異なる授業科目がある。教職課程は、教員免許状という資格を授与する課程であることに鑑み、授業内容の扱いについて、個々の教員に完全に委ねるのではなく、全学的組織において決められた教育課程の編成方針のもと、その内容の検討・点検ができるような体制・仕組みとすること。

○教科に関する科目については、自学科等での開設を原則としている一方、教職課程の科目内容の水準の維持・向上等を図る観点から、各科目区分の半数までは他学科の科目を充てることが可能としているところであるが、人間科学部情報メディア学科の高等学校教諭一種免許状（情報）の課程においては、科目区分の半数を超えて他学科等の科目を充てていることから、それら課程は、基準を満たすように修正すること。

- 中学校及び高等学校教諭一種免許状（国語）（英語）の課程を置くリベラルアーツ学部リベラルアーツ学科において、国語と英語の両方の免許状を取得する予定の学生がおり、要修得単位数が160単位程度となっている。また、中学校及び高等学校教諭一種免許状（保健）の課程と養護教諭一種免許状の課程を置く人間科学部心理学科においても、保健と養護教諭の免許状の双方を取得する予定の学生がおり、リベラルアーツ学科と同様、要修得単位数が160単位程度となっており、単位の実質化が図られているか否かはもとより、教員としての専門性が担保されているか否かについても疑念が持たれる。例えば、取得免許状別のコース分け、及びコースごとのカリキュラム編成などの工夫を行い、教員養成の高度化を図ることを検討すること。
- 人間科学部心理学科における中学校及び高等学校教諭一種免許状（保健）の課程と養護教諭一種免許状の課程については、学科の目的と教科に関する科目及び養護に関する科目との関連性が見えづらい。  
本来、教科に関する科目や養護に関する科目は、学科等における学位を取得するための専門科目の一部であり、教職を志す学生は、教科に関する科目や養護に関する科目とその他の学位を取得するための専門科目を取得することによって、その専門性を高めていくことが期待されている。このため、教職課程の編成にあたっては、学位プログラムとしての専門科目と教科に関する科目の関連性に十分留意しながら、その編成を行うよう努めること。

### 3. 教育実習の取組状況

- 人間科学部情報メディア学科においては、教育実習を受けている学生に対して、e-learning を活用した指導を行うなどの工夫が確認された。
- ただし、全体としては、母校実習が多く、成績評価についても実習校に委ねている。大学による教育実習指導体制や評価の客観性の観点から、可能な限り大学が所在する近隣において実習先を確保することが望ましいが、学生が出身地の学校への就職を希望する等により、やむを得ず遠隔地における教育実習を行う場合においても、大学が、実習先の学校と連携し教育実習に関わる体制を構築するとともに、公正な評価となるように努めること。

### 4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 免許状取得者数及び教員就職者数が極めて少ない学科等が多数を占め、教職指導についても、全学的組織のもと、計画的・体系的に行われておらず、個々の教員の努力に委ねられているように見受けられた。  
教職に関心のある学生が、早い段階から学校におけるボランティア活動等を通じて、教職の魅力や教員としての適性等を把握した上で、教員免許状の取得を目指すことが重要であることから、教職に係る全学組織を中心に、教育委員会や学校との連携・協力体制を強化・推進し、教育課程における学修と教育課程外で行われる学校現場体験等を有機的に連携させた教職指導を実施していくよう努めること。

## 5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

○学校支援ボランティアについては、学生が積極的に参加しているようだが、学生の参加意欲に委ねられており、大学として、どのように計画的に支援をしているのかわからなかった。

今後は、教員としての実践的指導力を育成するため、大学と教育委員会・学校とが連携・協働し、教職を志す学生が学校現場等に触れることができる環境を充実していくことが求められている。同時に、大学及び大学の教員においても、地域と連携し、コーディネートする力量が必要となってきたことから、今後は、大学としても、積極的に、地元教育委員会・学校との連携・協働を進めていくよう努めること。

## 6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

○教科書や指導書を含めた教職関連の図書・雑誌を計画的に整備し、これら図書・雑誌の配置については、学生の利便性を考慮した配置とすること。

## 7. その他特記事項

○人間科学部心理学科の中学校及び高等学校教諭一種免許状（保健）の課程において、「教科に関する科目」の専任教員数が、教職課程認定基準上3人必要なところ、2人しか配置されていない。教職課程認定基準を正しく理解し、基準を満たすよう、速やかに改善すること。